

いので、捕らえにくいですが、採集できればかなりの珍種の  
はずである。森林は二次林である。

(6) バン・パン・ヤン村 (Ban Pan Yang)

実は地図の上で見当をつけてヤン・マエ・ランに行こう  
と考えて車をチャーターした。ハン・ドンを西に折れて  
仮舗装の道を行ったのだが、行けども行けども目的の  
村には到着しない。運転手が途中で出会った農民に、ど  
れくらいあるかと聞くと、まだ30km以上先だというので、  
300バーツで約束した値段ではとても行けないと言いつ  
つものだから、このあたりで適当な所で止めてくれと言  
って車を降りた小村がバン・パン・ヤンである。森は切ら  
れていて雑木林が茂り、採集地としてはあまり気が進ま  
なかつたが、村より奥に行ってみると蝶は実に豊富で、  
シロチョウ、タテハチョウ、ジミチョウが多く、特に  
シロチョウの類はものすごく速く飛ぶので採集が困難だ  
った。珍種4種を含めて17種を採集した。

6. 注意すべきこと

チェンマイでその他注意すべきこと、守るべきことは

次のとおりである。

(1) 街を歩いていると見知らぬ男が寄ってきて、良い女  
を紹介するが来ないかとか、マッサージはどうか、若い  
きれいな女性ばかりだとか言い寄ってくる。絶対にこの  
手の客引きの口車に乗らないこと。チェンマイの日本人  
の失敗の90%は女で失敗している。揚句の果ては大金を  
まき上げられて、日本へ帰れなくなり、領事館に泣きつ  
くことになった日本人男性は数多いという話である。  
怪しげなバーにも入らぬこと。日本人の中には、チェン  
マイは男にとっては楽園で、いくらでも女が手に入ると  
いったことを言う人もいるが、チェンマイの大多数の女  
性はまじめに働き、夜は男と一緒に出歩くなどというこ  
とは決してない。

(2) チェンマイの水道水は直接飲めない。現地の人達も  
決して飲まない。水道水を飲む場合は一度煮沸してから  
飲むこと。ホテルが部屋に持って来てくれる冷水は清潔  
である。もちろん、山の谷川の水も飲むことはできない。  
だから水筒か魔法ビンを日本から持って行くとよい。

## 姫路市大手前通りのラッパイチョウ

阿蘇達郎\*

本年度の第3学年の春の学年行事は、4月28日シロト  
ピア博の見学であった。集合場所を姫路城三の丸広場に  
したため、私はJR姫路駅から大手前通りの東側歩道を、  
銀杏並木を眺めながらお城へと歩いた。メゾン・タナカ  
ヤの前(彫刻“想い”の南)のイチョウの第一の枝の南  
西の枝先にラッパ状の葉を見つけた。

7月6日、第二次生物学会台湾研修旅行のためのパス  
ポートを受け取りに姫路へ行った。用件は短時間ですん  
だので、再度大手前通りのイチョウすべてを観察して歩  
いた。その結果、ラッパイチョウ7本を確認することが  
できた。

〔西側歩道〕 駅からお城に向けて

- 東急観光 レストランしらすぎの前(駅に最も近い樹)  
幹 高さ1.65mの所の南側
- 大手前交差点 北西の角 幹 高さ2.5mの所の南西側

○姫路ドッグセンターの前 幹 高さ2mの所の東側

○寿司 万福の前 幹 第二の枝の付け根の北側  
〔東側歩道〕 駅からお城に向けて

○姫路信用金庫駅前支店の前(駅から3番目の樹)

彫刻“舞降りた愛の神話”の南 幹 高さ3mの所の  
西側

○メゾン・タナカヤの前 第一の枝 南西の枝先及び  
北東の枝先

○ヤマトヤシキの前(一番駅寄りの木) 幹 高さ2m  
の所の北側

昭和59年、私が加古川市新神野で発見した8本のラッ  
パイチョウは、以後毎年所々にラッパ状の葉をつけてい  
る。恐らく大手前通りのラッパイチョウも、毎年木のど  
こかにつけるであろう。

ちなみに、新神野のラッパイチョウの枝先をさし木し  
たものは4年目を迎えるが、いまだにラッパ状の葉をつ  
けない。

\* 県立加古川西高等学校